

社会保障の在り方に関する懇談会について

社会保障の在り方に関する懇談会の開催について

(平成16年7月27日 内閣官房長官決裁)

1. 趣旨

社会保障制度を将来にわたり持続可能なものとしていくため、社会保障制度全般について、税、保険料等の負担と給付の在り方を含め、一体的な見直しを行う必要がある。このため、有識者の参加を得つつ、「社会保障の在り方に関する懇談会」（以下「懇談会」という。）を開催する。

2. 検討事項

(1) 社会保障の基本的考え方

- ・ 社会保障制度の国民生活における基本的役割
- ・ 制度の持続可能性、経済や雇用との関係、家族や地域社会の在り方

(2) 給付と負担の在り方

- ・ 中期的な観点からの社会保障給付費の目標
- ・ 税・保険料の負担や給付の在り方
- ・ 公的に給付すべき範囲の在り方
- ・ 各制度間の調整の在り方

(3) 制度の在り方

- ・ 年金制度の体系の在り方
- ・ 効率的な制度運営の在り方

(4) その他

3. 構成

(1) (略) (右欄参照)

(2) 懇談会は、内閣官房長官が主宰し、厚生労働大臣がこれを補佐する。

(3) 懇談会は、必要に応じ、関係大臣その他関係者の出席を求めることができる。

4. その他

懇談会の庶務は、内閣官房において処理する。

社会保障の在り方に関する懇談会名簿

石 弘光

(税制調査会会長)

笹森 清

(日本労働組合総連合会会長)

潮谷 義子

(熊本県知事)

杉田 亮毅

(日本新聞協会理事)

西室 泰三

(日本経済団体連合会評議員会副議長)

宮島 洋 (座長)

(社会保障審議会年金部会長)

[政府側]

内閣官房長官

内閣府特命担当大臣 (経済財政政策)

総務大臣

財務大臣

厚生労働大臣

経済産業大臣